



第70回 全国植樹祭あいち2019

～木に託す もり・まち・人の あす・未来～



おことばを述べられる天皇陛下



天皇陛下による苗木(あいちニコ杉)のお手植え



お手播きの際に緑の少年団にお声掛けされる皇后陛下



代表記念植樹をする吉川農林水産大臣

6月2日、愛知県尾張旭市・名古屋市の愛知県森林公園で「第70回全国植樹祭 あいち 2019」が開催されました。全国植樹祭は、天皇皇后両陛下の御臨席のもと、豊かな国土の基盤である森林・緑に対する理解を深めるため、昭和25年から各都道府県を巡って毎年春季に開催されている国土緑化運動の中心的な行事です。

愛知県では、昭和54年5月に藤岡町(現在の豊田市)で「第30回全国植樹祭」が「緑で結ぼう山村と都市」をテーマに開催されており、今回の大会が2回目の開催となります。

式典前のプロローグでは、山から伐りだした木材を筏にして川を下り、都市に見立てた「木づかいの舞台」を作り上げていくアトラクションが披露されました。

式典では、大会会長の大島 理森衆議院議長(国土緑化推進機構会長)及び大村 秀章愛知県知事よりあいさつがありました。その後、全国の緑化功労者や各種コンクールの表彰が行われ、吉川 貴盛農林水産大臣などへ農林水産関係の高校生から苗木の贈呈が行われました。贈呈された苗木(あいちニコ杉)は、吉川大臣が大会会長とともに記念植樹を行いました。

両陛下のお手植えでは、天皇陛下がスギ(あいちニコ杉)、クスノキ、フモトミズナラの苗木を、皇后陛下がシデコブシ、ヒトツバタゴ、シキザクラの苗木をそれぞれ植樹されました。また、お手播きでは、天皇陛下がヒノキとアベマキの種子を、皇后陛下がハナノキとマメナシの種子を播かれました。

続いて、国土緑化推進機構の佐々木 毅理事長及び農林水産関係の高校生より、国民の命を守り、人々に希望を与える森林を未来に引き継ぐ決意を述べた大会宣言が行われました。最後に大村 秀章愛知県知事から来年全国植樹祭が開催される島根県の丸山 達也知事に全国植樹祭のシンボルである「木製の地球儀」がリレーされ閉会となりました。

次回の第71回全国植樹祭は、来春、島根県大田市の三瓶山北の原を主会場に開催される予定です。